



ちば「炎の仲間」

発行
 一般社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
 TEL 043-246-1725
 FAX 043-243-6781
 E-mail : chibalpg@chibalpg.or.jp
 http://www.chibalpg@chibalpg.or.jp
毎月10日は保安の日

平成27年度
定例理事会を開催

【横山一洋会長あいさつ要旨】

理事の皆様方には、5月の社員総会、6月の県指定保安講習会を始め、情報収集訓練、保険の契約更改など、いろいろな業務に御支援、御協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。

まず、専務理事が、6月をもって辞任されましたが当分の間、現状の人員のままで行くこととしましたことをご報告いたします。

今回のエネルギーシステム改革に対しては、商売の原点に戻り、基本に忠実であるべきと考えます。

保安を確保し、原価計算に基づき、損益分岐点を見極めた上で、料金を透明化した戦略的な料金体系を構築することが必要と考えております。この件は、9月に開催する「LPガス販売指針」説明会において、説明することになっておりますので、是非、ご聴講ください。

また、LPガス業界のイメージは、鋼製容器の形状が爆弾を想像させることではないかと思えます。そのような中、総会時に展示しましたFRP容器が8月から販売が開始されます。当協会では、このFRP容器の普及促進に取り組むこととしました。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【県あいさつ要旨】

日頃、液化石油ガスの保安行政の推進、先月実施いたしました県指定保安講習会に御協力いただき誠にありがとうございます。

今年上半期の一般消費者等に係るLPガス事故の発生状況ですが、4月の理事会の際にもご紹介しました、富里市内で7人の負傷者を出したCO中毒事故の1件に留まっております。

これから、夏の行楽シーズンを迎えます。普段は、あまり利用されていない別荘などでのLPガス使用や、各地域で行われる各種イベントでの質量販売によるLPガス使用などが見込まれます。

消費者の保安の確保のため、ガス器具の取り扱いに対する注意喚起や点検

平成27年度定例理事会が、去る7月14日(火)午後1時30分より千葉県ガス石油会館において開催されました。

理事会終了後に退任役員への感謝状と記念品が贈呈されました。

等について、万全の対応をお願いいたします。

また、県では、貴協会への委託事業として「LPガス災害事故防止セミナー」を10月に開催いたします。

津波災害リスクの高い富津市から銚子市までの沿岸18市町村の区域を北部と南部の2会場に分けて開催いたしますので、多数の方にご参加いただきますようお願いいたします。

【議事内容】

議題1 LPガス販売指針説明会について (報告事項)

全L協会長名で発出された「LPガス小売価格の透明性・低廉性確保の一層の努力について」の当協会の方針の概要は、会報第194号(平成27年4月1日発刊)にてお知らせしました。

この件については、昨年エネルギー基本計画等において指摘されている事項で一般社団法人全国LPガス協会(以下「全L協」という。)では、「LPガス販売指針」の再徹底を行うと公約しています。

そこで、当協会では、県内3ブロックで開催する日程及び会場が決定したことを報告するとともに、全会員が出席されるよう依頼しました。

議題2 FRP容器普及促進事業について (報告事項)

当協会では、国の委託事業である石油ガス販売事業者構造改善事業にFRP普及促進事業を申請し、6月26日付で交付決定通知がありましたので、需要開発委員会が中心となり事業を推進することを報告しました。

議題3 協会独自の防災訓練の実施について (審議事項)

標記訓練は、10月22日(木)に(株)ホームエネルギー東関東で実施する中核充てん稼働訓練と共催で行うことが4月理事会において承認され、具体的な訓練内容が承認されました。

なお、今後、同訓練を実施する支部が協力することとなることから、本年

【退任理事名簿】

氏名	役職	在任期間等
白井 幸雄氏	専務理事	専務理事1年間
飯田 稔氏	支部長	昭和60年から支部長、30年間
佐野 正吾氏	支部長	平成25年から支部長、2年間
小川 雅広氏	理事	平成24年10月から理事、2.5年間
大森 正興氏	理事	平成26年から理事、1年間

度は船橋支部に、炊き出し訓練に参加していただくことを依頼しました。

議題4 平成27年度千葉県高圧ガス保安大会について (依頼事項)

本年度は、10月21日(水)に「三井ガーデンホテル千葉」で開催し、優良事業所、優良従業員の推薦について、未提出の支部については早急の対応を依頼しました。

議題5 LPガスCO中毒事故防止対策講習会の開催について (報告事項)

全L協会では、「LPガス安全安心向上運動」に引き続き、本年度から3年間にわたる「LPガス安全応援推進運動 “すべてはお客様の安心のために”」の事業を推進しますが、当協会でもこの運動を中心事業に据え、B級以上事故の撲滅を図り、業界の発展に資するために事業推進することとします。

しかし残念ながら、千葉県ではこの運動開始前の2月に消費者ミスではありますが、B級事故が発生してしまいました。この事故概要は、6月中に開催された県指定保安講習会にて説明しました。

従って当協会では、CO中毒事故防止対策として「LPガスCO中毒事故防止対策講習会」(地域保安指導事業)を開催することを報告しました。

議題6 報告書の提出状況等について (報告事項)

次の4項目の提出状況等が報告されました。

- ① ガス放出防止機器等の普及状況調査
- ② 自主保安活動チェックシート
- ③ 情報収集訓練
- ④ 安全機器普及状況等及び需要開発推進運動等(結果報告)

議題7 千葉県指定保安講習会出席状況について (報告事項)

標記講習会の出席状況は、845事業所、1,848名の出席でありました。

以上

業界最新情報は全L協事務局通信から！ アクセスは協会HPより！

お知らせ



コーナー

防災危機管理部産業保安課 保安対策室

本県の液化石油ガス保安行政の推進につきましては、日頃から御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

1 平成27年度液化石油ガス販売 事業者及び保安機関に対する保安対策指針について

経済産業省は、液化石油ガスを利用する一般消費者等の保安の維持・確保の一層の充実及び重大事故の早期撲滅の観点から、「平成27年度液化石油ガス販売事業者等保安対策指針」を定めました。本指針は、液化石油ガス販売事業者等に対し通知し、自主保安活動を実施する際の指針として活用することを要請しています。

【平成27年度液化石油ガス販売事業者等 保安対策指針(抜粋)】

- LPガス販売事業者等に対して、
- (1) 事業遂行の前提である法令の確実な遵守と適切な保安対策を実施すること
 - (2) 時代や社会の要請に応じて自主保安の高度化を一層推進すること
 - (3) 液化石油ガス業界団体が表明した事故対策等保安対策を、具体的にかつ確実に実施すること
 - (4) 今後の自然災害の発生に備え、万全の保安対策を実施すること

を求め、もって一般消費者等に係る適切な保安の維持・確保を図ることを要請するため、この指針を策定する。

<保安対策の要請4項目>

最近の事故の発生状況及び法令遵守の状況を踏まえ、平成27年度において、次に掲げる4項目をLPガス販売事業者等に対して要請する。

- 1 法令遵守の徹底
- 2 組織内のリスク管理の徹底及び自主保安活動の促進
- 3 事故防止対策
 - (1) CO中毒事故の防止対策
 - ア) 業務用厨房におけるCO中毒事故の防止対策
 - イ) ボイラーにおけるCO中毒事故の防止対策
 - ウ) 住宅におけるCO中毒事故の防止対策
 - (2) 一般消費者等に起因する事故の防止対策

ア) 一般消費者等に対する周知等による保安意識の向上

- イ) 安全な消費機器の普及促進
- ウ) 誤開放防止対策の推進
- エ) ガス漏れ警報器の設置の促進等
- オ) 消費設備調査の推進
- カ) リコール対象品等への対応
- キ) 長期使用製品安全点検制度への協力

(3) LPガス販売事業者等に起因する事故の防止対策

- ア) 供給管・配管の事故防止対策
- イ) 機器の事故防止対策
- ウ) バルク供給に係る事故防止対策

(4) その他

- ア) 質量販売に係る事故防止対策
- イ) 積雪又は除雪ミスによる事故防止対策

4 自然災害対策

<重点事故防止対策の3項目>

事故防止対策については、平成26年の事故発生状況等から、

- (1) CO中毒事故の防止
- (2) 一般消費者等に起因する事故の防止
- (3) LPガス販売事業者等に起因する事故の防止

を重点に対応することを要請する。

その際、少子化、高齢化等社会経済情勢を踏まえた自主保安活動を実施するとともに、

- ・ 一般社団法人全国LPガス協会の「LPガス安全安心向上運動」等

で実施することとされた項目を自主保安活動に積極的に取り入れ、具体的な取組を行うことが重要である。

2 質量販売における事故防止の徹底について

屋台等移動設備の質量販売における事故を防止するため、下記の注意事項について、液化石油ガスの消費設備の使用者及び管理者に対して注意喚起をお願いします。

[注意事項]

- ① 質量販売で液化石油ガスを購入し使用する一般消費者等に取扱いの説明を十分すること。
- ② 屋台等移動設備で液化石油ガスを使用する場合には、日常的に容器、調整器、ゴム管等の点検を行い、容易に着脱しないよう確実に取り付けること、及び容器の転倒防止措置を講ずること等について指導すること。
- ③ 花火大会のような不特定多数の者が集まる大規模なイベントであって、液化石油ガスを使用する数多くの屋台等移動設備が集まる場合には、主催者と連携し、液化石油ガス消費設備が適切に設置されていることを点検する体制を整えること。

今後のセミナー等のご案内 全会員参加をお願いします!

今後の協会が予定しているセミナー等の開催日時及び会場を下記のとおり一覧表にしましたので、ご活用の上、是非、ご参加ください。詳細は、協会までお問い合わせください。

Tel 043-246-1725 E-mail:chibalpg@chibalpg.or.jp

日にち	セミナー等名称	時間	会場
8月27日(木)	FRP容器普及促進セミナー	14時～16時	三井ガーデンホテル千葉
9月2日(水)	東ブロック「LPガス販売指針」説明会	14時～16時	東金文化会館 2階 会議場
9月7日(月)	西ブロック「LPガス販売指針」説明会	14時～16時	千葉県ガス石油会館 5階 会議場
9月9日(水)	中央ブロック「LPガス販売指針」説明会	14時～16時	君津市民文化ホール
10月2日(金)	LPガス災害事故防止セミナー	14時～16時	大網白里市保健文化センター 3階 対象市町村: 銚子市、旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、九十九里町、大網白里市、白子町、長生村、一宮町
10月6日(火)		14時～16時	南総文化ホール 対象市町村: いすみ市、御宿町、勝浦市、鴨川市、南房総市、館山市、鋸南町、富津市
10月9日(金)	LPガスCO中毒事故防止対策講習会	10時～12時	千葉県ガス石油会館 5階 会議場

第30回

関東高圧ガス保安大会開催される

受賞者

高木 秀夫氏・佐藤 規一氏・有限会社須藤ガス設備



高木 秀夫氏



佐藤 規一氏

須藤 友春氏
(有限会社須藤ガス設備)

関東高圧ガス保安団体連合会主催、経済産業省関東東北産業保安監督部後援による『第30回関東高圧ガス保安大会』が去る7月24日(金)に「ホテルアジュール竹芝」(東京都港区)で開催されました。

午前中の総会に引き続き、午後1時30分から経済産業省関東東北産業保安監督部長表彰並びに関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰授与式が挙行され、表彰式終了後に特別講演として「アベノミクスと日本経済改革のさらなる課題」との演題で千葉商科大学の島田晴雄学長より行われました。

表彰式では、保安功労者として高木秀夫理事(印旛支部:八街ガス機)と佐藤 規一様(サトーエルピーガス教育事務所:協会専任講師)が高圧ガス保安関東東北産業保安監督部長表彰を受賞されました。また関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰受賞者の中の優良販売業者として有限会社須藤ガス設備様(須藤友春:印旛支部長)が受賞されました。誠にありがとうございます。

ご紹介

全L協防災活動保険

防災訓練等が対象

全L協では、防災訓練等の防災措置中の事故に対する傷害保険に加入しています。これから防災訓練等が開催されます。協会が主催した、或いは、協会から要請されて防災措置中での怪我等に対する補償制度です。

万に備えて全L協が加入している保険ですので、詳細は、協会までお問い合わせください。

TEL 043-246-1725 E-mail: chibalpg@chibalpg.or.jp

全L協防災活動保険の概要

1. 内容

各都道府県協会の要請により、防災措置(防災訓練を含む。)、を講ずるために出勤した者が怪我等をした場合の傷害保険です。

2. 対象者

- ① 全L協の会員である各都道府県協会の会員、その会員の役員・従業員(注)
 - ② 各都道府県協会の役職員
 - ③ 各都道府県協会が出勤要請した者
 - ④ 全L協役職員
 - ⑤ 全L協が出勤要請した者であって、防災措置(防災訓練を含む。)を講ずるために出勤した者とする。
- ただし、全国で1日800人限度。

(注) 会員、その会員の役員・従業員とは、個人事業主とその従業員(雇用契約がある家族従業員含む。)、企業の代表者・役員・従業員(雇用契約がある嘱託職員・契約社員・パート従業員・アルバイト従業員を含む。)をいう。

ただし、派遣社員は除く。

3. 保険金額

- ① 死亡 1名につき1,000万円
- ② 後遺障害 1名につき30万円~1,000万円
- ③ 入院 1名・1日につき5,000円(事故日から180日限度)
- ④ 通院 1名・1日につき2,000円(事故日から90日限度)

(注) 入・通院合わせた場合は、事故日から180日が限度となります。

平成27年度 国家試験を実施!

高圧ガス製造保安責任者・販売主任者
及び液化石油ガス設備士試験について

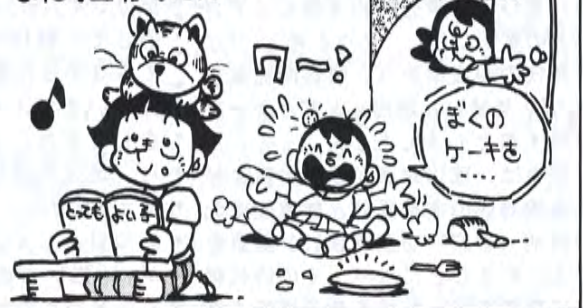
標記試験につきましては、平成27年11月8日(日)に「千葉工業大学 津田沼校舎」にて行います。

なお、受験希望される方の受付は、平成27年8月24日(月)から9月4日(金)までです。

なおインターネット受付は、9月4日午後5時まで、書面(郵送)受付は、9月4日(金)までの消印があれば有効です。

詳細については、本会報とともに同封いたしました案内文書をご覧ください。

また猫かぶった~



千葉県LPガス相談所は
フリーダイヤルになりました。

相談所は月~金(祝祭日除く)
9:00~12:00及び13:00~17:00に
開設しております。

なお、フリーダイヤルは

0120-122-128です。

支部便り：市原支部
おらが町、市原市

(有)五味商店 五味清隆氏

市原支部のあります市原市は、県内最大の広域都市です。その豊かな自然を活かして農業・畜産などが盛んで、農業生産額は県内でも有数です。畑作の出荷額では、第1位が大根、第2位が梨です。大根は、国の指定生産地になっております。畜産は、農業生産額の30%を占めています。また、生産高は少ないのですが皇室献上のイチジクが有名です。



ドラゴンハイパーシンボル



ドラゴンハイパー車

それから広い房総丘陵を開発して造りに造ったゴルフ場の数は、日本一を誇り、なんと33カ所もあり、その面積は、市原市の22%を占める広大な面積です。

その他には、市原ぞうの国、ローカル線の小湊鉄道、市原市が誇る？世界一大きなトイレがあります。小湊鉄道の飯給(いたぶ)と言う駅にある敷地面積200m²、周囲50mのトイレです。周りを黒い杉板で囲まれた中に、一坪位の四面透明ガラス張りのトイレブース、中に白い洋式便器、開放感バツグン、利用するには勇気がないと！ちなみに女性専用です！ギネスに申請したけれど、審査に値しないと門前払いだったそうです。

さて、そんな市原市ですが、臨海部には、京葉臨海工業地帯の中核を担う全国有数の石油コンビナートがあります。その為、臨海部を管轄する3カ所の消防署には、大型化学消防車が配備され、コンビナート火災などに備えています。また、石油コンビナート等災害防止法に基づき、石油や高圧ガス等を貯蔵している特定事業所には、防災資機材などが整備されていま

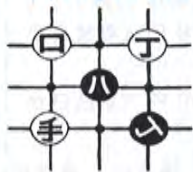


ドラゴンハイパー車2

す。総務省消防庁では、東日本大震災の教訓を踏まえ、全国12の地域に化学プラントの被災などに特化した消防隊を配備することとし、全国に先駆けて本市に配備され、この6月1日より運用を開始いたしました。産業基盤災害即応部隊、通称「ドラゴンハイパー・コマンドユニット」、同部隊の中核車両の長時間大量放水が可能な「大型放水砲搭載ホース延長車」と「大容量送水ポンプ車」が新たに配備されました。放水能力は4倍、送水車は1km先から給水可能です。この部隊は、特別な訓練を受け、緊急消防援助隊として組織され、市原市を守るだけでなく、要請があれば全国各地に出動します。市原市の一部を紹介させていただきました。

大募集！

本紙新年号(第199号)の第1面を飾る新年に相応しい写真を募集しています。詳細については、協会事務局までお問い合わせ下さい。TEL 043-246-1725



先日、会社から近くにあり、給食室にLPガスを納めていて、かつ自分が40数

年前に卒業した小学校からオープンスクール(昔の授業参観)の講師の依頼がきました。依頼内容は、五年生の道徳の時間を昔の行徳(市川市)並びに仕事を絡めて話して下さいとの事でした。色々と考え、「江戸時代の製塩業から、燃料商売業まで270年続いた理由」と言うテーマで話す事としました。

前半は、徳川家康が豊臣秀吉より北条氏討伐の命を受け、討伐後は元の領地(駿府)を没収され、関東を与えられることになり、その時代戦時に重要であった塩を作る場所を密偵に探らせ、行徳の地が選ばれ、製塩業が保護されたと言う歴史的な背

景から話をしました。次に、塩を煮詰める工程で使う燃料からの発想で、より効率の良い燃料と言う事で石炭の販売に係わっていった事を話しました。(実際に、薪・石炭・コークス等を持っていき触らせてみました。ほとんどの小学生が見るのも初めて状態でした。)

そして、後半は本題である道徳の部分です。一つは、製塩・燃料販売を通じて、儲けだけを重視した事をして来なかった事。即ち、「お天道様が見ていますよ」の精神を持って事業をしてきたこと。悪い事をしていたら、地元で継続的に商売できないと教えました。

二つ目として、進化論のダーウインが、「強いものが生き残るのではなく、賢いものが生き残るのではなく、変化に対応できるものが生き残れる。」と説いています(進化は自然選

択)。実際、当社も、製塩業から始め、燃料販売。そして、燃料も扱うものが、石炭から石油、LPガス、都市ガスまで変化してきました。ガスも、さらに、燃料から原料へと。「皆さんも、必要に応じて変化して下さい。変化するには自分で変えようとしなければ変わりません。是非、自分の殻を破って変化して行って下さい。」とまとめました。今回小学生の授業を引き受け、歴史等を調べる良い機会になりましたし、小学生の反応を見て、もっと自分も変わらねばと思いました。ガス業界も、来年の電気的自由化、二年後の都市ガスの自由化で激動の時期になると思います。皆で変わっていきませんか？

秋元利文



空家の充てん容器は必ず撤去しましょう